

市街地の流出雨水、6項目で環境基準超過



The Knights

近年、湖沼など閉鎖性水域の水質汚濁問題の中で市街地や農地などから流出するノンポイント負荷の影響が指摘されています。ノンポイント負荷とは、下水や工場排水などの特定汚染源(点源)に対し、市街地、山林、農地、降水などの面的に広がる汚染源(特定できない場所)からの汚濁物質の排出のことを言います。今回、国土技術政策総合研究所の調査によると、雨天時に市街地から流出する雨水の水質が亜鉛、BOD、COD、全窒素、全リン、SS(浮遊物質)の6項目で環境基準を上回る傾向にあることがわかりました。5回の降雨を対象に調査が行われ、亜鉛が0.09~0.37mg/l、BODが6.1~10.6mg/l、CODが10.9~17.6mg/l、全窒素が2.0~2.6mg/l、全リンが0.12~0.28mg/l、SSは42.5~66mg/lとなり、各項目で環境基準を超える濃度が検出されました。ノンポイント負荷については、昨年4月に施行された改正湖沼水質保全特別措置法で、対策が必要な地区を「流出水対策地区」に指定し、重点的に対策を講じることとされていますが、具体的な対策が進んでいないことがわかり、今後改善が求められそうです。

当社ではBOD分析に長年の実績がございます。BOD分析の際はぜひ一度当社にご相談ください。

資料 2007年10月31日付 環境新聞

水質分析箇所 江上泰邦

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

今すぐ、結果が知りたい!と思った事ありませんか? 業界初新サービス、しかも無料!

「あなたの分析室Webシステム」過去データから最新の分析結果、分析の進捗状況まであなたのパソコンからいつでも好きなときにご確認いただけます。まずは、お問合せください。